

武蔵野市健康福祉総合計画・地域リハビリテーション推進会議
(令和元年度 第2回)

■日時 ~~令和2年3月25日(水) 午後6時30分から~~

■会場 ~~市役所811会議室~~

中 止

【送付資料】

資料1 地域支援課

- 1-1 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター 令和元年度事業報告と令和2年度事業計画について
- 1-2 武蔵野市シニア支え合いポイント制度
- 1-3 令和元年度 武蔵野市共同募金事業について
- 1-4 武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業
- 1-5 武蔵野市成年後見制度利用促進基本計画 概要版(別添)

資料2 生活福祉課

- 2 生活困窮者自立支援事業の実施状況について

資料3 高齢者支援課

- 3-1 武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定に向けて
- 3-2 エンディング支援事業

資料4 障害者福祉課

- 4-1 「武蔵野市児童発達支援センターみどりのこども館」の開設
- 4-2 武蔵野市障害者福祉についての実態調査-速報版-

資料5 健康課

- 5-1 胃がん内視鏡検診の開始 等
- 5-2 予防接種事業
- 5-3 「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の推進」

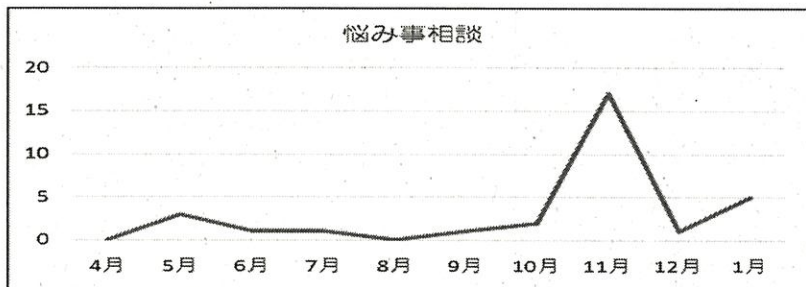
武蔵野市地域包括ケア人材育成センター 令和元年度事業報告と令和2年度事業計画について

1 令和元年度事業報告

(1) 養成研修・育成研修事業(概要)

研修	開催日	テーマ	参加人数(修了人数)
介護職員初任者研修	5/29~9/11	カリキュラムによる	10名(10名)
認定ヘルパー 養成研修	第1回 6/14~7/8の8日	カリキュラムによる	10名(10名)
	第2回 2/18、19、20	カリキュラムによる	13名(12名)
認定ヘルパー フォローアップ 研修	第1回 9/17	利用者と支援者のより良いコミュニケーション技術 その2	24名
	第2回 11/15		15名
	第3回 12/16		22名
認知症支援研修	第1回 10/17	認知症を理解しましょう~認知症の方の世界を覗いてみましょう~	84名
	第2回 10/21	弁護士による意思決定支援	55名
	第3回 11/18	認知症対応型グループホームの生活支援を通して	58名
技術研修	第1回 11/28	介護職のための医療ケア研修(基礎編)	23名
	第2回 12/10	介護職のための医療ケア研修・講義(経管栄養編)	18名
	第3回 1/23	介護職のための医療ケア研修・講義(喀痰吸引編)	14名
管理者・経営者 向け研修【新規】	第1回 9/27	管理者育成研修 ~ハラスメント対応力の向上~	60名
	第2回 3/10	管理者育成研修 ~ハラスメント対応力の向上 第2弾~	中止
介護・福祉のお仕事フェア	3/21	介護の仕事イベント『介護の仕事って何だろう』	中止

(2) 相談事業(件数と相談内容)



- ・潜在的有資格者復帰支援のチラシ内容について問い合わせ
- ・有資格者の就労先相談
- ・養成研修開催の問い合わせ
- ・外国人の研修受講希望
- ・有能な人材の就労先を探したい
- ・喀痰吸引等研修開催予定について

(3) 潜在的有資格者復帰支援事業

- ・広報チラシ配布(11月15日号市報折込)…84,876世帯(店舗、事務所含む)
- ・電話問い合わせ。計18件(令和元年11月12日~令和2年3月13日)
 - ・実際に就労に繋がった方は1名。他に復帰研修1月24日、3月4日実施(各1名参加)。
 - ・その他の相談内容等

継続的に転職についての相談があったほか、閉じこもりがちだったが、チラシをきっかけに外に出ようと思えた。かつての資格が生かせる可能性を知ったといった意見があった。

裏面あり

(4) 事業者・団体支援事業

①事業所の求人支援

ホームページ内での事業者紹介一覧に、求人案内の表記及びURLを加えた。

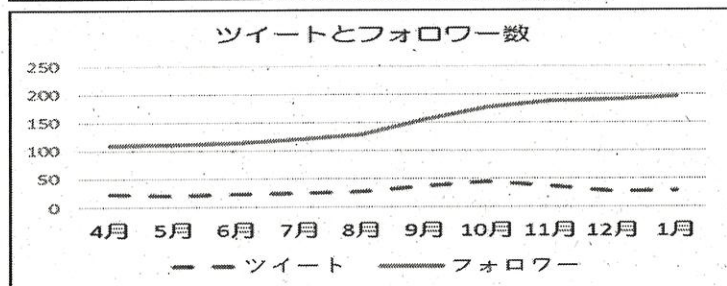
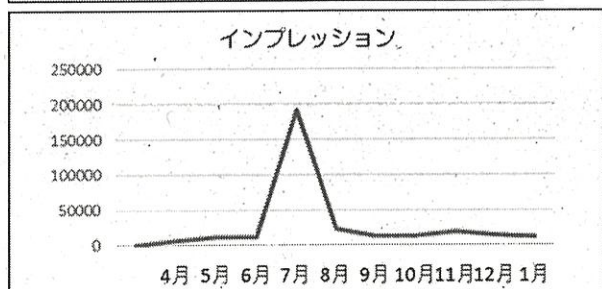
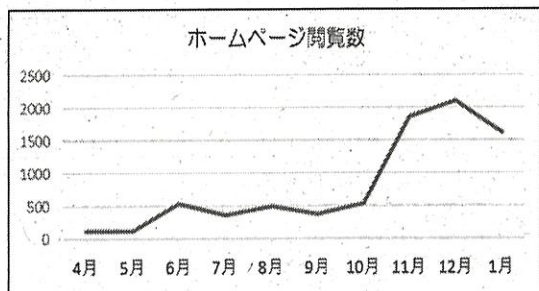
⇒就労相談に活用 地域、サービス種別、高齢・障害別の条件検索

②若者介護職支援【新規】

・39歳以下の介護職の集い：プロジェクト若ば

・情報共有、情報発信、創造を目的に、9月13日より毎月定例開催（計6回）。

③ホームページ・ツイッターによる広報



2 令和2年度事業計画（主に新規事業等について）

(1) 喀痰吸引等研修（新規）について

- ・特定者を対象に行う3号研修。
- ・吸引、胃瘻管理などの講義・演習9時間＋実地実習 他の追加行為があれば、実地研修は随時行う。
- ・実施時期・場所（予定）：8～9月頃、市役所又は近隣教育機関を予定
- ・広報時期：市報6月号頃

武蔵野市シニア支え合いポイント制度

1. 令和元年度事業報告

(1) 令和元年度説明会参加者数及びサポーター登録者数

説明会兼研修会	令和元年度	【参考】平成30年度
開催回数	11回	12回
参加者数	91名	115名
登録者数	72名	97名

※令和2年2月、3月の説明会について新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(2) 令和元年度分ポイントの交換

交換期間 令和2年3月2日～3月31日

交換方法 ①窓口にて申請（ボランティアセンター武蔵野、地域支援課）

②サポーター交流会にて申請 ※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止となり、
実際は実施していない。

③郵送にて申請

交換内容 武蔵野市民社会福祉協議会への寄付、市内産野菜等引換券、人間ドック利用助成券、図書カード、
QUOカード、こども商品券（今年度より追加）

交換実績 108名（令和2年3月18日現在）

(3) 協力施設・団体（令和2年3月12日現在）

30 施設・団体

平成31年4月より加入・・・ベストライフ吉祥寺、ホスピタルメント武蔵野、ナースケアたんぼぼの家、
介護付有料老人ホームシルバーシティ武蔵境

令和元年5月より加入・・・介護付有料老人ホームコートローレル

令和元年9月より加入・・・マザアスホームだんらん武蔵境

令和2年1月より加入・・・稲垣薬局ケアセンターコトニア吉祥寺、ゆとりえ、
稲垣薬局デイサービス吉祥寺

令和2年2月より加入・・・デイサービスまんてん吉祥寺、デイサービスまんてん緑町

裏面あり

2. 令和2年度事業計画

(1) 令和2年度事業方針

現状		令和2年度事業計画
1	○活動をしていないサポーターが多い。 ○活動者が少ない施設・団体がある。 ○西部地区にポイント交換申請の受付場所がない。	サポーター交流会を開催し、協力施設・団体の紹介、サポーター同士の情報共有の場を設ける。交流会は年に2回程度開催する。(うち1回はポイント交換期間の3月とし、その場でポイント交換申請を受け付ける。)
2	協力施設・団体が高齢者施設や高齢者を対象とした事業だけとなっている。	高齢者分野以外の施設等への協力依頼について検討する。(武蔵野市地域支え合いポイント制度(仮称)検討委員会報告書においても、平成32年度(令和2年度)より、高齢者分野以外の活動を検討するとしている)
3	制度本来の目的である、地域福祉活動及びボランティア活動などの「きっかけ作り」が、どの程度図られているかが不明である。	本制度をきっかけにボランティア活動を始める方の数を把握し、どの程度活動につながっているかのデータをとっていく。
4	市民に魅力的な広報ができていない。	サポーターの活動の様子が見えるようなチラシを作成する。
5	シニア支え合いポイント制度の協力施設・団体の目印がなく、施設等を訪れても一目で分からない。	シニア支え合いポイント制度の協力施設・団体であることが分かるステッカー等を作成し、施設に貼っていただく。

(2) 説明会スケジュール(上半期)

	日程	会場
1	4月28日(火)	武蔵野市役所 西棟4階411会議室
2	5月22日(金)	商工会館 第一会議室
3	6月24日(水)	スイング スカイルーム1
4	7月29日(水)	武蔵野市役所 西棟1階111会議室
5	9月29日(火)	武蔵野市民社会福祉協議会 1階 会議室

※上記以外にも出前による説明会を要望に応じて実施する。

(3) 広報

- ・チラシ
- ・市報
- ・市報一面(7月1日号予定)
- ・ケーブルテレビ
- ・介護保険65歳年齢到達者被保険者証送付時チラシを同封
- ・ホームページ
- 等

(4) 協力依頼予定施設・団体

高齢者施設や高齢者を対象とした事業に引き続き協力依頼をするとともに、高齢者分野以外の施設等への協力依頼について検討する。

(5) 令和2年度分のポイント付与・交換について

- 〈ポイント付与期間〉 令和2年3月～令和3年2月
- 〈交換申請期間〉 令和3年3月中

令和元年度 武蔵野市共同募金事業について

1 令和元年度武蔵野市共同募金実施内容

①武蔵野地区協力会構成団体

武蔵野市赤十字奉仕団、武蔵野市民生児童委員協議会、武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会、武蔵野千川福社会、多摩信用金庫、コミュニティ研究連絡会、地域福祉活動推進協議会（13団体）、武蔵野市民社会福祉協議会、武蔵野市 計22団体

②実施期間

赤い羽根共同募金：令和元年10月1日から10月31日まで

歳末たすけあい募金：令和元年12月1日から12月31日まで

③広報活動

- ・市関連施設でのチラシ配架、ポスター掲示、地区協力会参加団体による団体内でのチラシの配布及び地域へポスティング等
- ・市報及び地区協力会参加団体関連広報誌、各種SNSへの記事掲載

④募金箱設置

市役所本庁舎、市政センター、その他民間施設等 計45か所（赤い羽根共同募金は22か所）

⑤街頭募金活動（吉祥寺・三鷹・武蔵境駅周辺）

赤い羽根共同募金：10月5日 15団体（延べ134名）

歳末たすけあい募金：12月2日、17日、21日 33団体（延べ276名）

⑥封筒募金の試行

個人・集合住宅及び、地区協力会参加団体内部の会議等での取りまとめで募金用封筒を活用

⑦募金実績（令和2年2月7日現在）

赤い羽根共同募金 984,736円（昨年度募金額6,296,443円、昨年度比▲5,311,707円（▲84%））

歳末たすけあい募金 2,475,696円（昨年度募金額6,563,451円、昨年度比▲4,087,755円（▲62%））

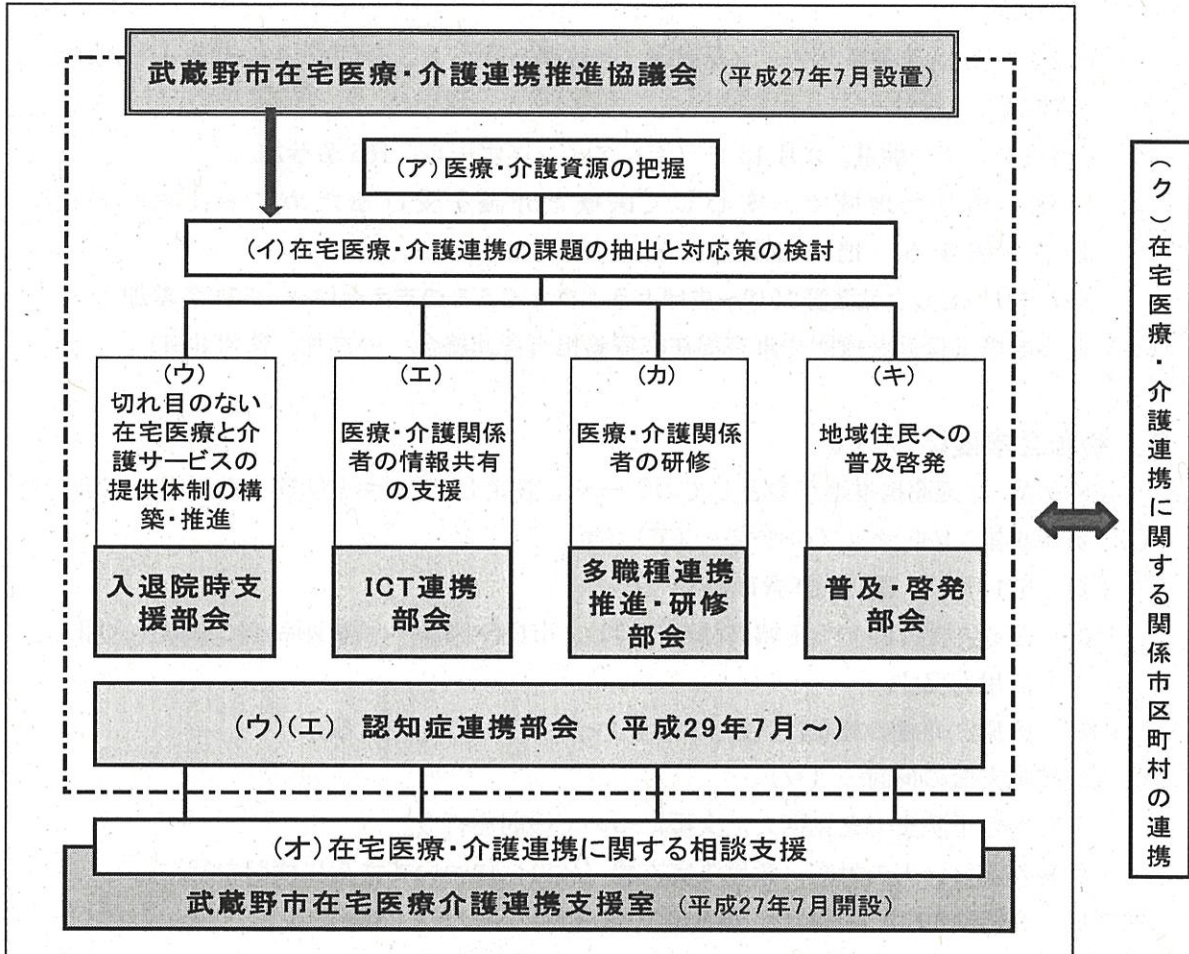
2 令和2年度事業方針

活動のベースは令和元年度と同様に、協力する施設・団体が協力可能な範囲内で、前述の活動（広報、募金箱設置、街頭募金）を拡大実施する。また、次の点について検討する。

- ・地区協力会における議論の活発化や、募金の裾野を広げることを目的として、地区協力会参加団体の拡充を図る。
- ・個人的なとりまとめや、新たな協力員（または団体）の候補等について、地区協力会参加団体から情報提供いただき、協力要請する。

武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業

1. 在宅医療・介護連携推進協議会と5部会について



2. 令和元年度の取組み状況について

- (ア) WEB マップ導入について検討。
- (イ) 協議会を3回開催。5部会で活動。
- (ウ) ・「入院時情報連携シート」の本格実施。活用状況をアンケート調査
 - ・「看護サマリー」の活用状況をアンケート調査。
 - ・「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」をもとにした、身寄りがない人の対応（意思決定支援（ACP））について。
- (エ) ・MC S登録数（2年2月末現在）600件。
 - ・在宅医療介護連携支援室のホームページの内容について検討。
 - ・認知症高齢者に対する医療・介護連携による取り組みの必要性を周知するため、研修会を2回開催。68名参加。

裏面あり

(オ) 相談実績 (30年4月～1月末) 175件。

(カ)・「ACP」について、共通の理解を得るために研修会を9/25に実施。147名参加。

講師：杏林大学 准教授 角田ますみ氏

- ・研修会に参加した人の中から「ACP」をテーマにした合同グループワークに76名が参加。
- ・12月に3か月後アンケートを実施(回収率86%)し、合同グループワークの効果を確認。

(キ)・市民セミナー開催。2月15日(土) スイミングホール 165名参加。

「住み慣れた地域で、安心して医療と介護を受けるために～在宅への復帰を支援する「地域包括ケア病床」～」

・ケアリンピック武蔵野2019～広げよう！まちぐるみの支え合い～ 704名参加

(ク) 北多摩南部保健医療圏や東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有。

3. 令和2年度について

在宅医療・介護連携推進事業としてのテーマを設定し、テーマと関連した活動を部会で行う。

①<新規事業>Webマップの作成…(ア)(エ)

予算：521千円(運営委託費ほか)

目的：在宅支援に関する地域資源を把握し、市民や医療・介護関係者に情報を公開し活用を促す。

内容：医療・介護の施設情報をWEB上でマップとして公開する。

②入退院時支援の検討…(ウ)

- ・入院から退院までを見据えた支援について検討を行う。
- ・身寄りがない人の対応(意思決定支援(ACP))についてさらに検討を行う。

③医療・介護連携による認知症高齢者の支援推進…(ウ)、(エ)

- ・認知症ケアに関する小規模かつ定期的な事例検討会の開催及び、緊急性を有する事案の相談窓口の整理。

④在宅医療介護連携支援室のホームページの運用…(ア)(エ)(オ)

⑤多職種連携推進・研修…(カ)

- ・ACPについても一度取り組む。
- ・多職種連携のすそ野を広げる方法を検討する。

⑥普及・啓発…(キ)

在宅医療・介護連携推進事業として設定したテーマに沿った周知・啓発の活動を行う。

4. 予算額

9,420千円

生活困窮者自立支援事業の実施状況について

1 生活困窮者総合相談窓口実績

平成27年度より生活困窮者総合相談窓口を設置。

令和2年2月までの相談件数は、前年度同期と比べ、同程度で推移しており、生活困窮者総合相談窓口は、これまでの周知により、一定の認知を得ていると思われる。今年度7月末に周知チラシの全戸配布を行った。

平成27～令和元年度相談件数。令和元年度は4～2月の相談件数 (単位：件)

年度	27	28	29	30	R1.2月末(30同期)
生活困窮相談	258	322	313	377	331(341)
生活保護相談	628	632	563	631	566(563)
合計	886	954	876	1008	897(904)

注) 相談内容から生活困窮相談、生活保護相談の双方に計上したものあり。

2 法内事業の利用件数等実績 ※令和元年度については2月末現在

(1) 自立相談支援事業

複合的課題を抱える傾向にある生活困窮者に対し、課題等の解決に向けて本人の状況に応じた包括的な支援を実施。

平成27～令和元年度支援実績 (単位：件)

年度	27	28	29	30	R1.2月末
新規利用件数	66	114	110	114	145

(2) 住居確保給付金支給事業

離職による住居の喪失を防止するため、家賃相当額（上限額あり）の給付金を支給。

平成27～令和元年度支援実績 (単位：件)

年度	27	28	29	30	R1.2月末
新規支給決定件数	16	19	15	24	25

(3) 就労準備支援事業

直ちに就労が困難な生活困窮者に対し、一般就労の前段階としての社会的能力の習得や就職活動に向けた知識の習得等の支援を実施。

平成27～令和元年度支援実績 (単位：人)

年度	27	28	29	30	R1.2月末
実利用者数	2	13	17	9	9

(4) 学習支援事業

貧困の連鎖の防止を目的に、基礎学力の向上を目指した補習教室を実施。

平成 27～令和元年度支援実績（少人数型） (単位：人)

年 度	27	28	29	30	R1.2月末
実利用者数	9	11	10	35	27

令和元年度支援実績（サポート型） 令和元年度新規実施 (単位：人)

令和元年度	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
実利用者数	6	9	6	8	8	9	10	9	9

(5) 家計改善支援事業

生活困窮者が自身で家計の把握を行い、その改善に取り組む力を育てる支援。

平成 27～令和元年度支援実績 (単位：人)

年 度	30	R1.2月末
実利用者数	7	6

3 広報・周知、連携について

(1) 広報、周知

- ①市報掲載（4月15日号）
- ②「啓発用カード」を関係各課・関係施設へ配布（10月）
- ③事業周知チラシ全戸配布（7月末）
- ④民生委員との懇談会にて事業周知・協力依頼（6月）
- ⑤職員向けニュースレター発行（6月、11月、3月）

(2) 連携

- ①庁内連携 生活困窮者自立支援庁内連絡会議（7/11、2/21）
- ②庁外連携 見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会（7/23、1/28）

4 令和元年度新規事業の状況及び来年度予定

・学習支援事業（サポート型）（集団が苦手であるなど従来の少人数型では対応が難しい方を対象）を令和元年度6月からの新規実施。実績は2-（4）参照

・令和2年度については、1教室あたりのスタッフ数の増（4→5名）と実施場所を2ヶ所とするレベルアップを行う。対象、教科、回数については、令和元年度と同様。

会場：武蔵野市民文化会館会議室

男女平等推進センターヒューマンあい会議室（市民会館）※新規

定員：10名×2教室

委託先：令和2年～4年度までの3年間の受託事業者のプロポーザルを実施。

その他：利用にあたっては、一般公募は行わず、生活保護世帯にケースワーカーを通じ利用意向を確認し実施。